

遼齋雜記

仁





門 775  
卷 283

中書直道豚齋集輯

# 豚齋雜記

一名肥後雜記

## 豚齋雜記

一名肥後雜記



### 目錄

此書之在後直道古蹟  
之物語之類也

### 卷之一

物語類

隈部物語

霜野物語

阿蘇家物語

并系系將

### 卷之二

記類上

霧崎言談記

霧崎事跡

書後直道雜記

梅北記 野村玄  
著

大正二年一月廿日  
中村植雄氏贈



梅北記 森木一端

堅志田舎戰記

野尻雜記

遊南卿記

相良觀音記 在山鹿郡

天草軍記

卷之三

阿蘇宮記

天草田耒記

藤崎望鐘記

嚴殿觀音緣記

增補阿蘇宮記

御方原合戰記

卷之四

記類下

家集類

長崎町見集

元楠集

楠垣家集

森中雜家集

卷之五

雜記

北里見書

北里舊記 先附

北里系書 并

少國滿所寺記

南關地圖

信正公挽詞

野村序

肥後初民藝傳

物月家錄



脛齊雜記

卷之一

肥後郡物誌

中村直道啟

一

肥後之古名形大永之以義武市

又重治

大永六年上洛有義晴公



其對面暫置焉之也此作如柏原天皇崩御同七年持川會

重治帝都守守後持川敗北者有先帝皇子弟位子付終不

享祿改元除目私執行義晴公權大納言征夷將軍重治肥

後曾之也之義之字也免義宗之改于後高國自對

馳向彼之云是之云也初之斜由之義晴公左文字之也方并

此筆之也深之西國之信之也信之也信之也信之也信之也

義武及之也信之也信之也信之也信之也信之也信之也

之也方也信之也信之也信之也信之也信之也信之也

一 義武曾子之也友及之子息宗也古之也古之也古之也

天文九年也記去也方之也天也之也武士也星隈也國也

國中之也也人太也也仕之也也之也也也也也也也也也

一 天文十年也黃也之也雲也也現也也也也也也也也也也



傍後より正徳形に懐くまでと、美池言主と重臣ありて先戸一府の  
二を現し、これに前後の者ましく申す。

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、

一 宗任の事、宗任の房及び十兩宗任の相宗、元老後分七、







































手書 限府人致書下りあはるは江州指子親承節入、  
限府より及し百貫為所請或致書切日江又城中より打中  
法人より致書親承に致書多ふ久大和智と申者おん江の及  
ちしそ尾とてこまに別城日攻し何年中し喜切に信約  
おん他申すより限府より信約親承も限府に人致書も  
此出の及しより信約の邊親承城村が重正山と申す所江信  
後限府より川口陣所新と稱陣日江中し其時より及し軍  
御書より成る方江致書致し之度失事し指子親承致書致し  
肉より致書致しとて人の致書致しとて其より及し信約の  
親承より及しとて致書致しとて指子多ふ久大和智より人致書致しと  
大の信指中とて其より及し信約の邊親承致書致しとて其より及し  
而由致書致し致書致しとて致書致しとて大の信指中とて其より及し  
系より及し致書致しとて其より及し信約の邊親承致書致しとて其より及し  
今切の及し致書致しとて其より及し信約の邊親承致書致しとて其より及し

為御代信指中とて其より及し信約の邊親承致書致しとて其より及し  
切の及し致書致しとて其より及し信約の邊親承致書致しとて其より及し  
親承より及し致書致しとて其より及し信約の邊親承致書致しとて其より及し  
房及び信約の及し致書致しとて其より及し信約の邊親承致書致しとて其より及し  
とて其より及し信約の邊親承致書致しとて其より及し信約の邊親承致書致しとて其より及し  
川口陣所新と稱陣日江中し其時より及し軍御書より成る方江致書致しとて其より及し  
而由致書致し致書致しとて致書致しとて大の信指中とて其より及し  
系より及し致書致しとて其より及し信約の邊親承致書致しとて其より及し  
今切の及し致書致しとて其より及し信約の邊親承致書致しとて其より及し







































三人のりて進まざるに... 岩城... 中... 日... 夜... 定...

... 城... 日... 夜... 定... 一箇の...

... 平... 院... 下... 行... 走... 走... 走...



















































- 一 少海友以てし集書
- 一 行向草内蔵分の集書并海の凡が書
- 一 皇代書
- 一 今川書
- 一 流書
- 一 八反
- 一 此書
- 一 一
- 一 一

此書之遺記系載たるに今更く之を整理し其の旨を述べ  
 とあるに政十以年三月廿日以はるかに  
 文政二年四月十日小国宮火宮 高橋宮参詣同十七日同縣満願寺至什物大概二見夫方  
 河原北宮参詣 至宮地 河原宮 参拜  
 国月廿二日寫置中村茨喜直衝  
 此書之遺記系載たるに今更く之を整理し其の旨を述べ  
 とあるに政十以年三月廿日以はるかに  
 文政二年四月十日小国宮火宮 高橋宮参詣同十七日同縣満願寺至什物大概二見夫方  
 河原北宮参詣 至宮地 河原宮 参拜  
 国月廿二日寫置中村茨喜直衝

此書五冊主人之所寫也主人没後  
 予後之皆記藩之事跡也而書亦  
 無標帳多因合之以為合則立  
 本略借之是之表類是曰  
 齋雜記之再

仙代二年

中村致道

并書



